



# PURE CHABLIS

*One grape  
One region  
One of a kind*

2019年12月2日 報道関係者各位 プレスリリース

## 暑さと寒さを耐えて生まれた 見事なバランスを持つ2019年産シャブリ

5月の霜と夏の気温上昇など、2019年、Chablis/シャブリでは温度計が気温の乱高下を示し、また雨量計は出番のない一年となった。2019年はストレスに満ちた1年だったが、9で終わる年は収穫に恵まれるという魔法のおかげか、最終的には非常に高品質でバランスの取れたワインが生まれた。ただ一点残念だったのは収穫量で、平均的な年の収穫量より減少した。



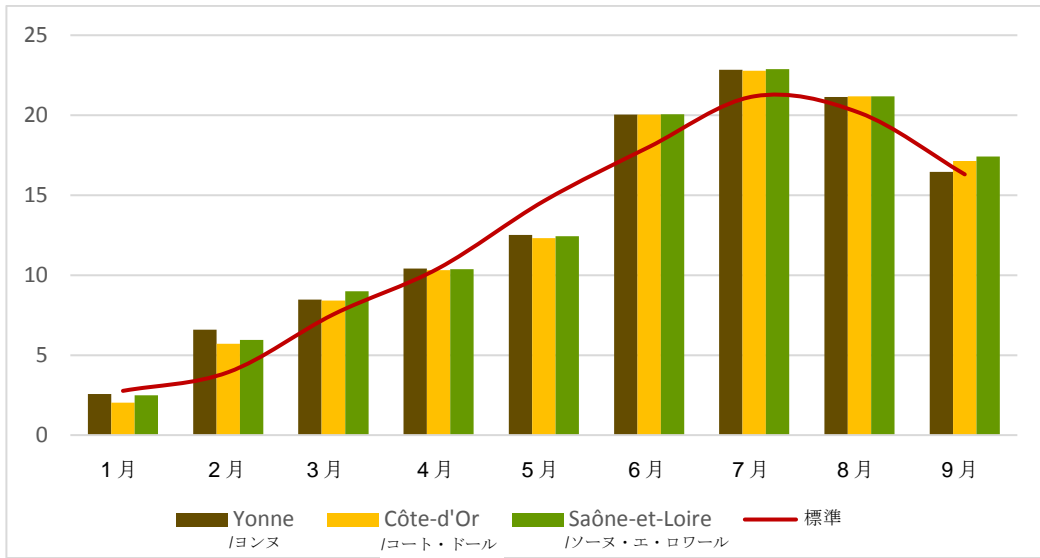
比較的暖かな冬のおかげで、ぶどう畑の植物のライフサイクルは早めのスタートを切った。4月には、過去20年の平均と比べて8日も早く芽吹きを迎えた。

しかし、Bourgogne/ブルゴーニュには長い間寒さが居座り、5月まで何度も早朝に霜が降り、低地では新芽がしおれ、中にはそのまま枯れてしまうものもあった。この春先の冷気が植生の進みを遅らせ、ぶどうの収穫は9月半ばと見込まれた。

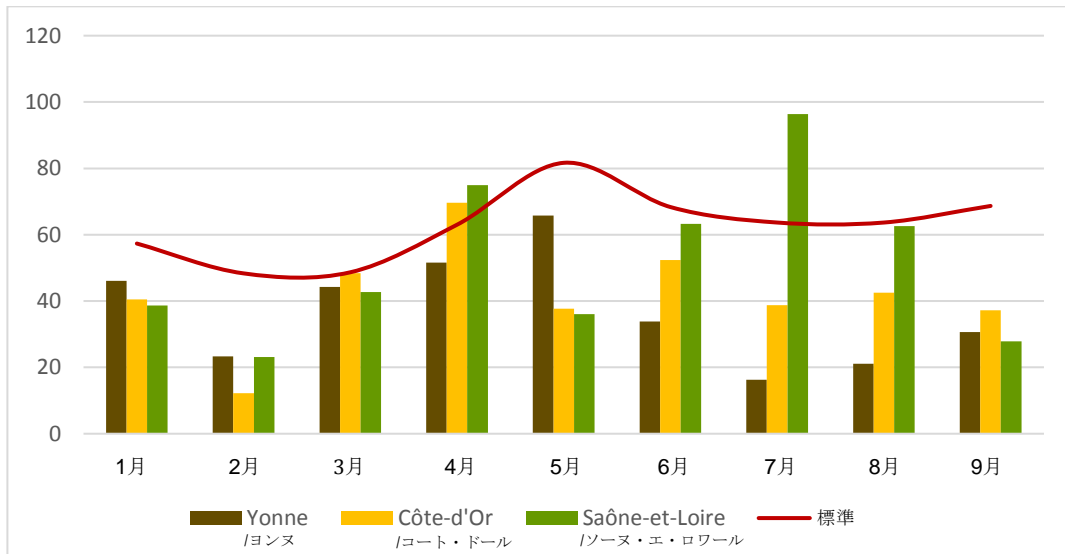
その後、**猛暑と乾燥**が長期間続き、気温は40℃を超え、雨は絶望的なほど降らなかった。Yonne/ヨンヌ県では6月から9月まで、次ページのグラフが示すように平均的な年より大幅に少雨だった。

このような条件下で、より日当たりの良い斜面が乾燥と猛暑に苦しんだ一方、北側斜面はこの環境によく耐えた。同様にしっかりと根を張った古木の方が、若木よりもこの難局をうまく切り抜けた。待ちに待った雨は、ぶどうの収穫後によりやく降ったのである。

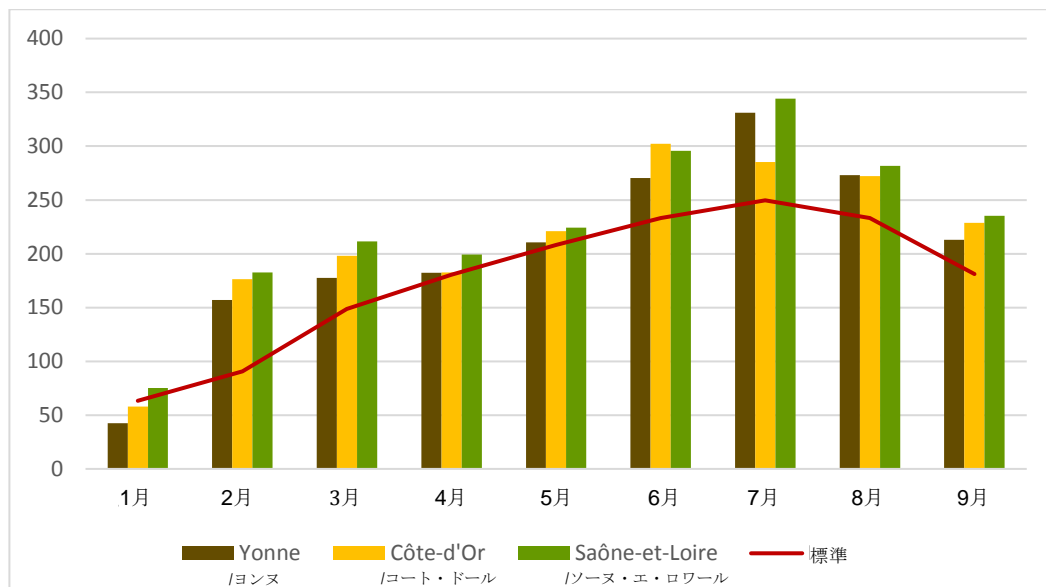
月間平均気温 (°C) Bourgogne/ブルゴーニュ  
 県別気温との差 2019年



月間平均降水量 (mm) Bourgogne/ブルゴーニュ  
 県別降水量との差 2019年



月間平均日照量（時間） Bourgogne/ブルゴーニュ  
県別日照時間との差 2019年



収穫の始めの頃、ぶどう樹に問題がなかった一方、果房は結実不良を起こし、果実はどちらかと言えば小粒だった。村や区画により、圧搾機で絞られた果汁の量は変動した。Chablis/シャブリ村は打撃を受けたが、その他のコミューンはほぼ平年並みの収穫に恵まれた。

醗酵はスムーズなスタートを切った。驚いたことに、酸味が保たれ非常にバランスの良いワインが出来上がった。一点、少し陰りを見せたのが収量だったが、ただ、幸いにして2019年は2018年という十分な在庫のある豊かなヴィンテージの翌年となる。2018年産の在庫分を2019年産と合わせると、市場におけるChablis/シャブリワインの総量としては、標準的なヴィンテージとほぼ遜色ない提供が可能である。

[www.chablis.jp](http://www.chablis.jp)

Françoise Roure

BIVB

Tél. : + 33 3 86 42 42 22

E: francoise.roure@bivb.com

Twitter : @PureChablis

Instagram : @VinsdeChablis

#PureChablis



VINS DE

BOURGOGNE